

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	防火訓練を年に2回実施している。通報の手段や緊急連絡網を掲示し、全職員が対応できるようにしている。2階ユニットの利用者の避難には、屋内の1人用昇降機と階段のため、時間と人を要し避難が困難である。	防火訓練のみに留まらず、地震や水害等についても、備蓄や避難場所などの対策・マニュアルを作成し、全職員・関係者に周知し、地域との協力体制を整える。避難の方法についても消防署に相談し、できる事を身につける。	* 防災訓練、地震、災害等のマニュアルを作成し、消防署に相談した上で、実際の訓練方法を習得する。 * 防災に関する知識や、緊急時の救助方法なども、マニュアルに基づいて、定期的に訓練を行う。	6ヶ月
2	49	その日の体調に合わせ、個別に近隣の公園へ出かけている。喫茶店や買い物などは家族に協力を得て外出している。行楽行事は年1階程度、市社会福祉協議会の福祉バスを利用している。	散歩などの日常的な外出は支援できているが、本人の希望や普段行けないような所へは事前の準備や確認が必要で、支援ができない時もある。変化が少ない生活の中で、いつでも気軽に出かけられる取り組みや工夫をする。	* 行きたい場所、したい事などの、個別での聞き取りアンケートを実施し、年間を通して希望に沿えるよう努力をする。 * スケジュールを作成する。	6ヶ月
3	26	入退院の時は、主治医や看護婦・理学療法士などの他職種で担当者会議や話し合いを行っている。初回の介護計画は記録やモニタリングが充実しているが、経過と共に不十分なところがある。	センター方式(認知症の人のためのケアマネジメント方式)を活用し情報収集に努めているが、全シートを使用しているため、空欄が多く、追加の記入もほとんどない。優先的にシートを抜粋し情報収集の充実を図り、思いや以降の実現に向けた介護計画の作成をする。	* センター方式を活用して、情報収集の記載が不十分な所があるので、優先的にシートを抜粋し、定期的に追加していく。 * モニタリングは、月1回実施する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。